

エコアクション21

環境活動レポート

(活動期間 平成26年4月～平成27年3月)

平成27年6月25日

株式会社 佐賀クリーン環境

<http://saga-clean.com/>

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者

株式会社 佐賀クリーン環境
代表取締役 西川 国男

(2) 所在地

本社 : 佐賀県佐賀市大和町大字川上 149-1
佐賀リサイクルセンター : 佐賀県佐賀市大和町大字川上 3529-1
富士リサイクルセンター : 佐賀県佐賀市富士町大字上熊川 716-3
小城事業所 : 佐賀県小城市牛津町乙柳 867-6
多久積替え保管場 : 佐賀県多久市北多久町大字多久原 2728-1
富士積替え保管場 : 佐賀県佐賀市富士町大字上熊川 690-47、690-48
佐賀積替え保管場 : 佐賀県佐賀市大和町大字川上 3529-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

管理責任者及び連絡担当者 : 代表取締役 西川 国男
TEL : 0952-62-3800 FAX : 0952-62-2218
E-mail : sagakurin@ja2.so-net.ne.jp

(4) 事業内容

①産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬及び中間処理・リサイクル

佐賀リサイクルセンター : 容器包装リサイクル (PET ボトル容器・プラスチック容器・飲料用空缶・飲料用びん)、廃蛍光灯リサイクル及び収集運搬

富士リサイクルセンター : 軟質容器プラ・ビニール類、硬質プラスチックのリサイクル、木くず・パレット、がれき類の中間処理、発泡スチロールの減容化及び収集運搬

小城事業所 : 発泡スチロールの減容化及び収集運搬

多久積替え保管場 : 汚泥の積替え保管

富士積替え保管場 : 汚泥及び動物のふん尿の積替え保管

佐賀積替え保管場 : 紙くず、繊維くず、ゴムくず、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くずの積替え保管

②しゅんせつ工事

(5) 事業規模 (平成 26 年度 : 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	単位	全社(本を含む)	佐賀 RC	富士 RC	小城事業所
産業廃棄物処理量	t	4675.6	—	—	—
産業廃棄物収集運搬量	t	7178.8	—	—	—
一般廃棄物収集運搬量	t	3778.4	—	—	—
売上高	千円	469,467	—	—	—
敷地面積	m ²	642	3238	9170	1315.65

RC: リサイクルセンターの略

【許可保有一覧】 (平成27年4月1日現在)				許 可 品 目												
産 業 廃 棄 物 処 分 業				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨			頁	
N	都道府県 及び政令 都市	許可番号	許可年月日 及び 有効期限	無 機 汚 泥	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	ゴ ム く ず	ッ 廃 類 ス チ	金 属 く ず	陶 磁 器 く ず	ガ ラ ス く ず	が れ き 類			
①	佐賀県	4121024265	平成23年3月15日 平成30年3月14日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			

【許可保有一覧】

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

一般廃棄物収集運搬業				頁	
No.	市町名	許可番号	許可年月日及び 有効期限	廃 棄 物 の 種 類	
①	佐賀市	佐賀市指令循推第 27 号	平成 26 年 4 月 1 日 平成 28 年 3 月 31 日	一般廃棄物（ごみ）	
②	多久市	多久市許可第廃 26-4 号	平成 26 年 3 月 9 日 平成 28 年 3 月 31 日	事業系一般廃棄物	
③	神崎市	神崎市指令保第 16 号	平成 27 年 4 月 1 日 平成 29 年 3 月 31 日	一般廃棄物（ごみ）	
④	吉野ヶ里町	第 9 号	平成 27 年 4 月 1 日 平成 29 年 3 月 31 日	ごみ（事業系一般廃棄物）	
⑤	白石町	白生第 230 号	平成 26 年 9 月 4 日 平成 28 年 3 月 31 日	事業系一般廃棄物	
⑥	武雄市	武市環第 524 号	平成 26 年 3 月 22 日 平成 28 年 3 月 31 日	白石町内で積込する一般廃棄物のうち、武雄市朝日町の杵藤クリーンセンターで積み降ろす廃棄物に限る。	

【許可保有一覧】

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

建設業				頁	
No.	国、県	許可番号	許可年月日及び 有効期限	建 設 業 の 種 類	
①	佐賀県	佐賀県知事許可 (般-23) 第 7826 号	平成 23 年 9 月 6 日 平成 28 年 9 月 5 日	土木工事業 しゅんせつ工事業 水道施設工事業	

(9) 施設等の状況

(産業廃棄物の処理施設)						平成27年4月1日現在
設置場所	設置年月日	施設種類	産業廃棄物の種類	処理能力	処理方式	構造及び設備の概要
◆小城事業所						
小城市牛津町乙柳867番6	平成23年8月29日	溶融施設	廃プラスチック類 (発泡スチロールに限る)	0.4t/日 (8時間)	溶融	型式RE502型
◆佐賀リサイクルセンター						
佐賀市大和町川上3529番1	平成12年3月3日	圧縮梱包施設	紙くず、 廃プラスチック類	0.96t/日 (8時間)	圧縮梱包	型式6040PET型
	平成12年5月8日	圧縮施設	金属くず	3.1t/日 (8時間)	圧縮プレス	型式ACP-072型
	平成12年9月20日	固化施設	汚泥 (無機性汚泥)	100m ³ (14時間)	固化	鉄筋コンクリート製、 生石灰・セメント系固化剤
	平成13年10月10日	破碎施設	廃プラスチック類 (ペットボトル及び プラスチック容器に限る)	3.0t/日 (8時間)	破碎	型式タイプ500A型
	平成13年11月1日	破碎施設	金属くず、ガラスくず、 コンクリートくず、陶磁器くず くず(蛍光灯に限る)	4112本/日 (8時間)	破碎	型式タイプy2001型
	平成15年5月10日	破碎施設 (固定及び 移動式)	木くず	4.5t/日 (8時間)	破碎	型式グリーンジャーク GS280D-F
	平成15年5月8日	圧縮梱包 施設	廃プラスチック類 (ペットボトル及び プラスチック容器に限る)	2.4t/日 (8時間)	圧縮梱包	型式PB-300
◆佐賀リサイクルセンター						
佐賀市富士町上熊川691番104、691番105、680番48、716番3	平成16年7月10日	破碎施設	紙くず、繊維くず、 ゴムくず、廃プラスチック類、 金属くず、ガラスくず、 コンクリートくず、陶磁器くず	4.3t/日 (8時間)	破碎	型式SRC-503
	平成16年7月12日	圧縮梱包 施設	紙くず、 廃プラスチック類	0.96t/日 (8時間)	圧縮梱包	型式6040PET型
	平成19年3月12日	溶融施設	廃プラスチック類 (発泡スチロールに限る)	1.2t/日 (8時間)	溶融	型式RE-1502型
	平成20年10月31日	破碎施設 (固定及び 移動式)	木くず	4.56t/日 (8時間)	破碎	型式MC-2000型
	平成22年11月29日	破碎施設 (固定式)	廃プラスチック類、ガラスくず、 コンクリートくず、陶磁器くず 及びがれき類	廃プラスチック類・ 72t/日(8時間) ガラスくず、コンクリートくず、 陶磁器くず・ 208t/日(8時間) がれき類・ 312t/日(8時間)	破碎	型式2415STC型
	平成25年6月7日	圧縮梱包 施設	廃プラスチック類	24t/日(8時間)	圧縮梱包	型式PL-3000F型
	平成25年5月29日	破碎施設	紙くず、繊維くず、 ゴムくず、廃プラスチック類、 金属くず、ガラスくず、 コンクリートくず、陶磁器くず	紙くず・3.4t/日 繊維くず・3.3t/日 ゴムくず・1.8t/日 廃プラスチック類・ 1.4t/日 金属くず・4.6t/日 ガラスくず、コンクリートくず、 陶磁器くず・ 4.7t/日	破碎	型式UC-45W

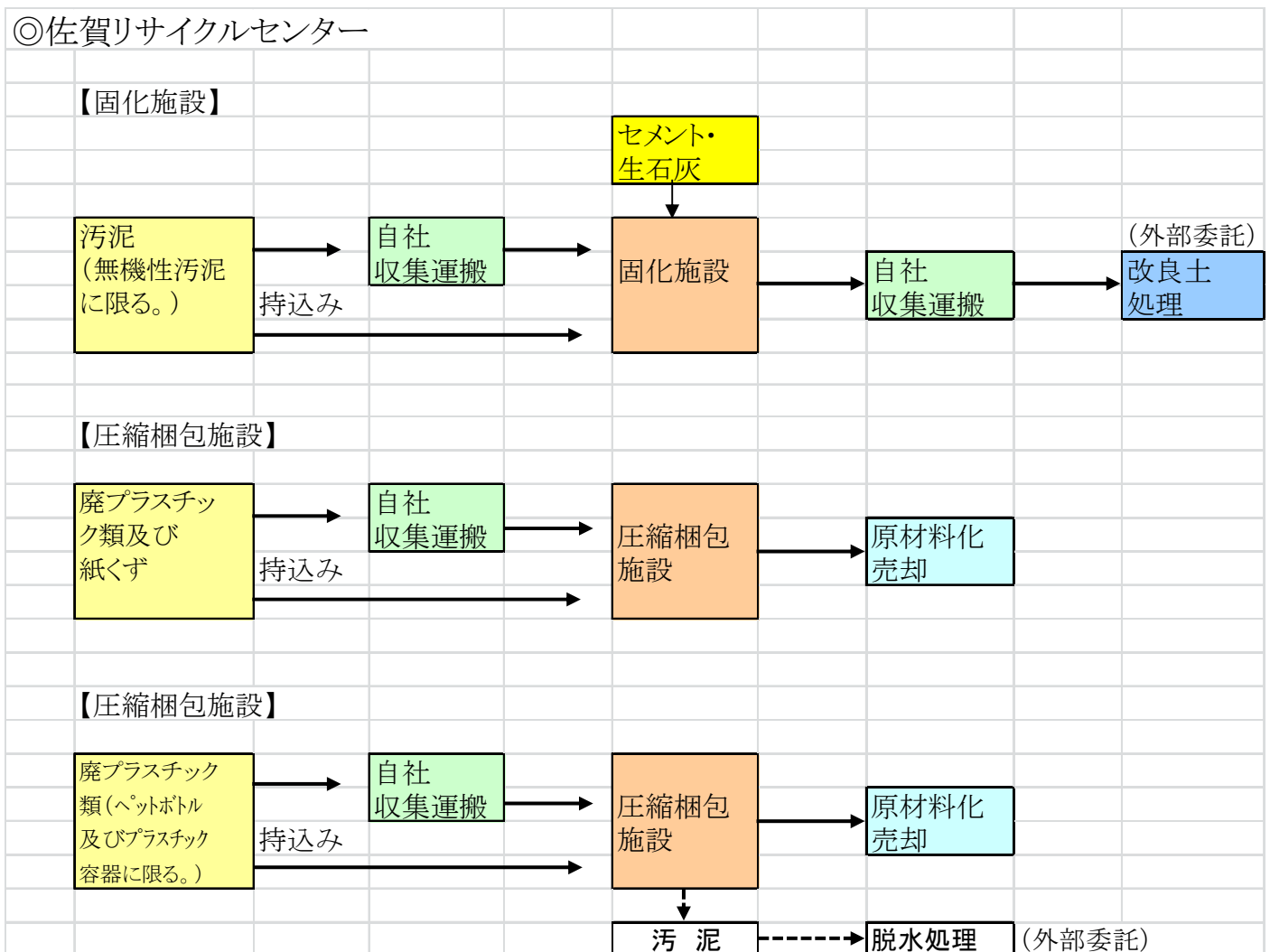
(積替保管施設)					平成27年4月1日現在
所在地	面積	積替え保管を行う産業廃棄物の種類	積替えの為の保管上限	高さ	備考 (設備の概要等)
◆佐賀リサイクルセンター 佐賀市大和町大字 川上3529番1	3238㎡	紙くず	6.8m ³	0.7m	トラックスケール:40t/10kg 1基 フォークリフト:2500kg 1台 油圧ショベル 1台
		繊維くず	6.8m ³	0.7m	
		ゴムくず	6.8m ³	0.7m	
		廃プラスチック類	6.8m ³	0.7m	
		金属くず	6.8m ³	0.7m	
		ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	6.8m ³	0.7m	
◆多久保管庫 多久市北多久町大字 多久原2728番1	29㎡	汚泥	21m ³	1.9m	鋼鉄製タンク
◆富士リサイクルセンター 佐賀市富士町大字 上熊川690番48、 690番47	53㎡	汚泥	18m ³	1.4m	鋼鉄製タンク
		動物のふん尿	9m ³	1.4m	鋼鉄製タンク

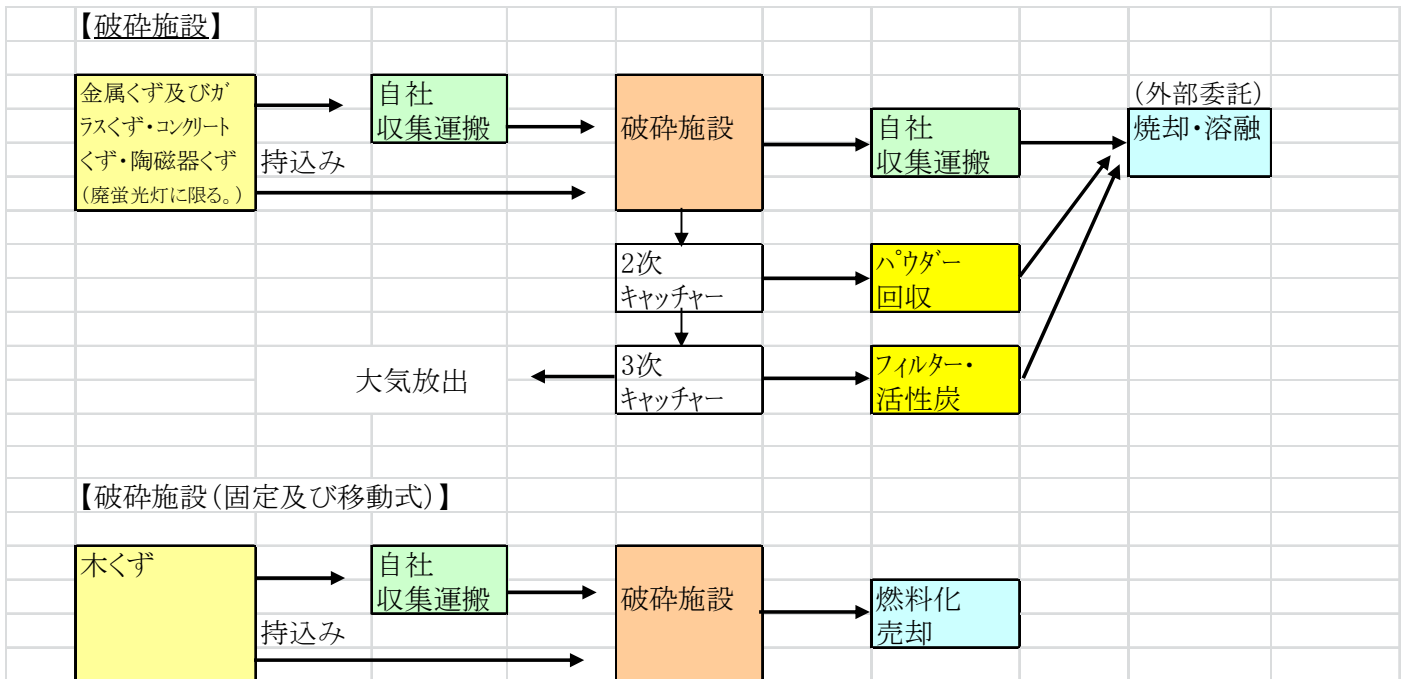
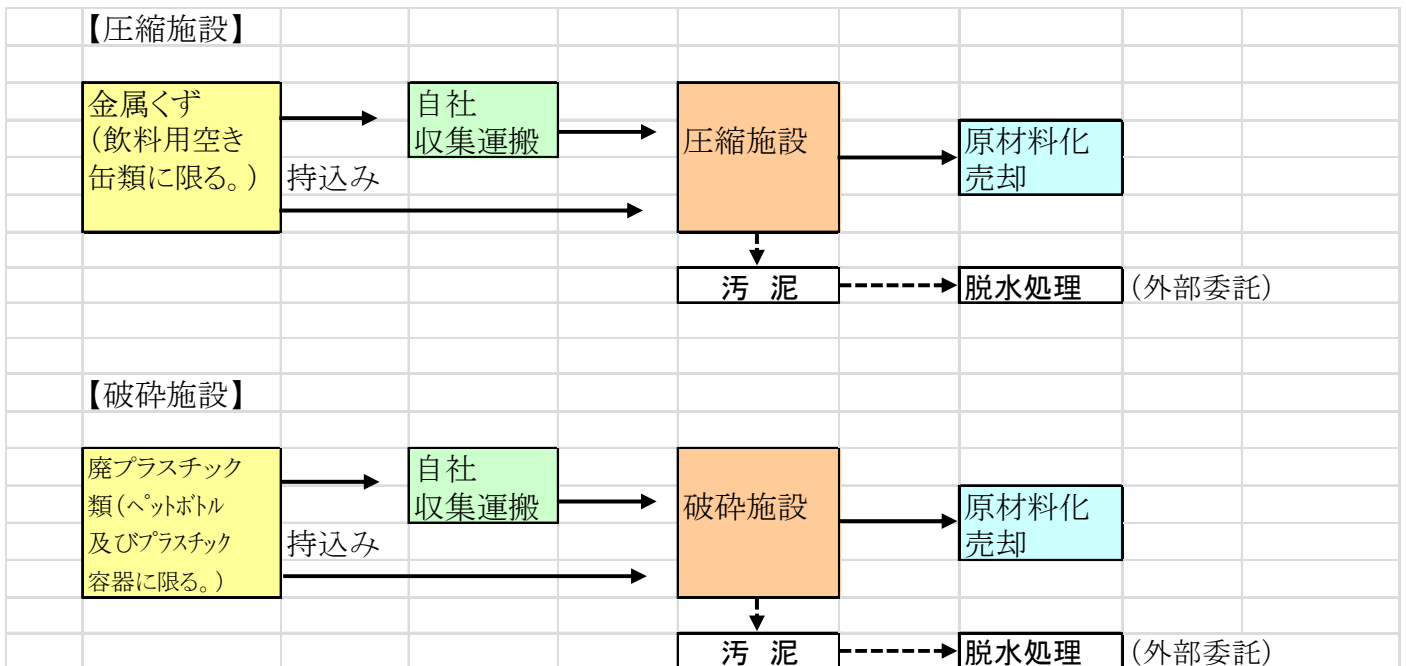
(産業廃棄物収集運搬車両)					平成27年4月1日現在
車両番号	車両形式	積載量	積載可能寸法 全長×幅×高さ(mm)	保有台数	
1	佐賀830さ3807	清掃車	9370kg	9110×2490×3500	1台
2	佐賀88す4257	清掃車	2200kg	6030×2170×2440	1台
3	佐賀830さ3826	清掃車	7770kg	9710×2490×3360	1台
4	佐賀800さ223	清掃車	2550kg	6760×2180×2670	1台
5	佐賀830さ3802	清掃車	10220kg	9840×2490×2930	1台
6	佐賀88ゆ1153	清掃車	10000kg	10050×2490×2490	1台
7	佐賀88す5601	ふん尿車	2700kg	4970×1880×2150	1台
8	佐賀100さ5814	脱着コンテナ車	3900kg	6050×2150×2380	1台
9	佐賀100さ1568	脱着コンテナ車	4050kg	6090×2200×2470	1台
10	佐賀130さ3804	バン	3100kg	8620×2490×3510	1台
11	佐賀483さ3813	バン	350kg	3390×1470×1870	1台
12	佐賀130さ3825	バン	2000kg	6160×1960×3040	1台
13	佐賀11な4026	ダンプ	1800kg	7410×2200×3470	1台
14	佐賀11な1043	ダンプ	2350kg	7600×2200×2850	1台
15	佐賀430さ3805	ダンプ	2000kg	4690×1690×1940	1台
16	佐賀130さ3820	ダンプ	3500kg	5520×2260×2470	1台
17	佐賀11せ8655	ダンプ	3250kg	6130×2180×2530	1台
18	佐賀830さ3824	塵芥車	4850kg	7530×2300×2710	1台
19	佐賀830さ3808	塵芥車	3500kg	5730×2150×2480	1台
20	佐賀830さ3817	塵芥車	2550kg	6380×2180×2530	1台
21	佐賀830さ3821	塵芥車	2550kg	6950×2280×2620	1台
22	佐賀130さ3818	キャブオーバー	1700kg	5990×1890×2920	1台
23	佐賀130さ3816	キャブオーバー	1400kg	5990×1920×2870	1台
24	佐賀800さ5250	冷蔵冷凍車	1500kg	4640×1690×1800	1台

(特別管理産業廃棄物収集運搬車両)					
	車両番号	車両形式	積載量	積載可能寸法 全長×幅×高さ(mm)	保有台数
1	佐賀830さ3807	清掃車	9370kg	9110×2490×3500	1台
2	佐賀830さ3826	清掃車	7770kg	9710×2490×3360	1台
3	佐賀88す4257	清掃車	2200kg	6030×2170×2440	1台
4	佐賀800さ223	清掃車	2550kg	6760×2180×2670	1台
5	佐賀88ゆ1153	清掃車	10000kg	10050×2490×2490	1台
6	佐賀830さ3802	清掃車	10220kg	9840×2490×2930	1台
7	佐賀11な1043	ダンプ	2350kg	7600×2200×2850	1台
8	佐賀11な4028	ダンプ	1800kg	7410×2200×3470	1台
9	佐賀430さ3805	ダンプ	2000kg	4690×1690×1940	1台
10	佐賀100さ1568	コンテナ車	4050kg	6090×2200×2470	1台
11	佐賀130さ3816	キャブオーバー	1400kg	5990×1920×2870	1台
12	佐賀130さ3825	バン	2000kg	6160×1920×3040	1台
13	佐賀800さ5250	冷蔵冷凍車	1500kg	4640×1690×1890	1台

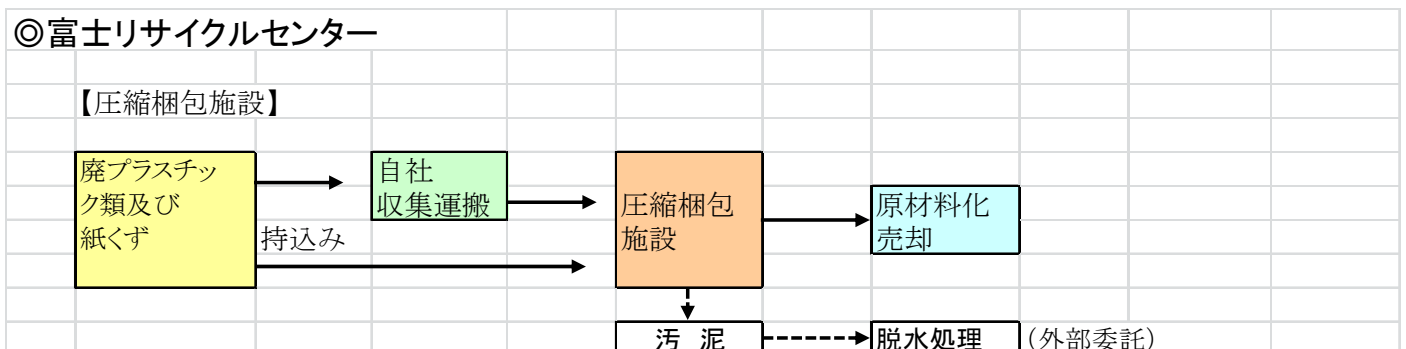
事業所毎の産業廃棄物の処理工程図

◎佐賀リサイクルセンター

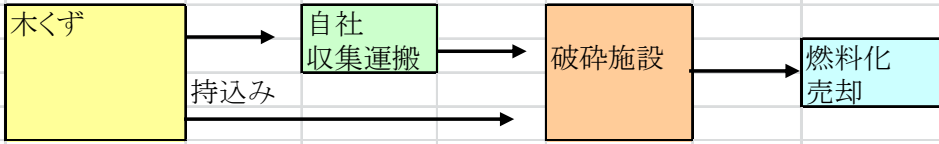




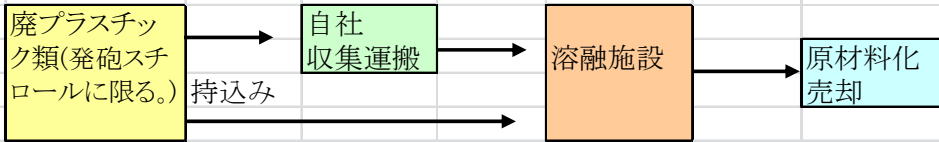
◎富士リサイクルセンター



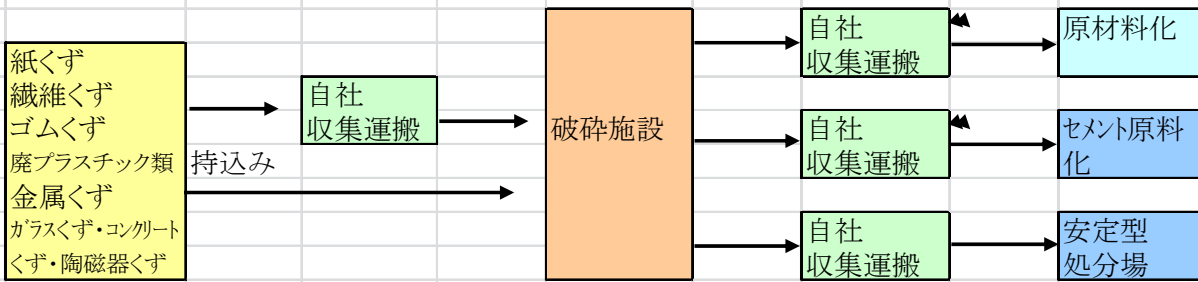
【破砕施設(固定及び移動式)】



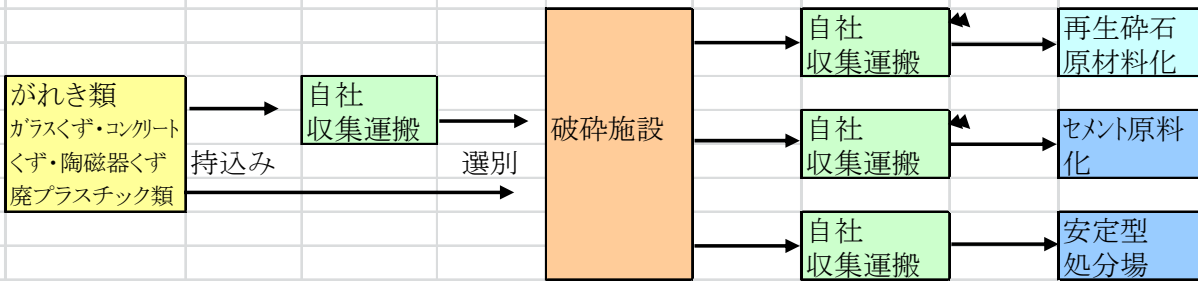
【溶融施設】



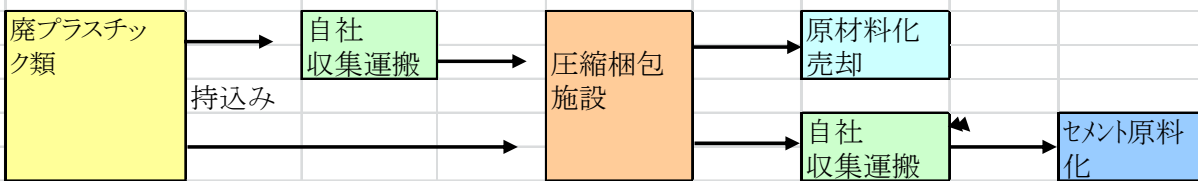
【破砕施設】



【破砕施設(固定式)】

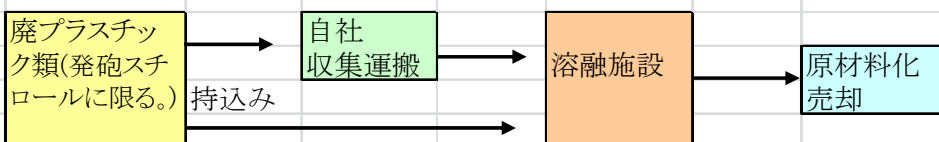


【圧縮梱包施設】



◎小城事業所

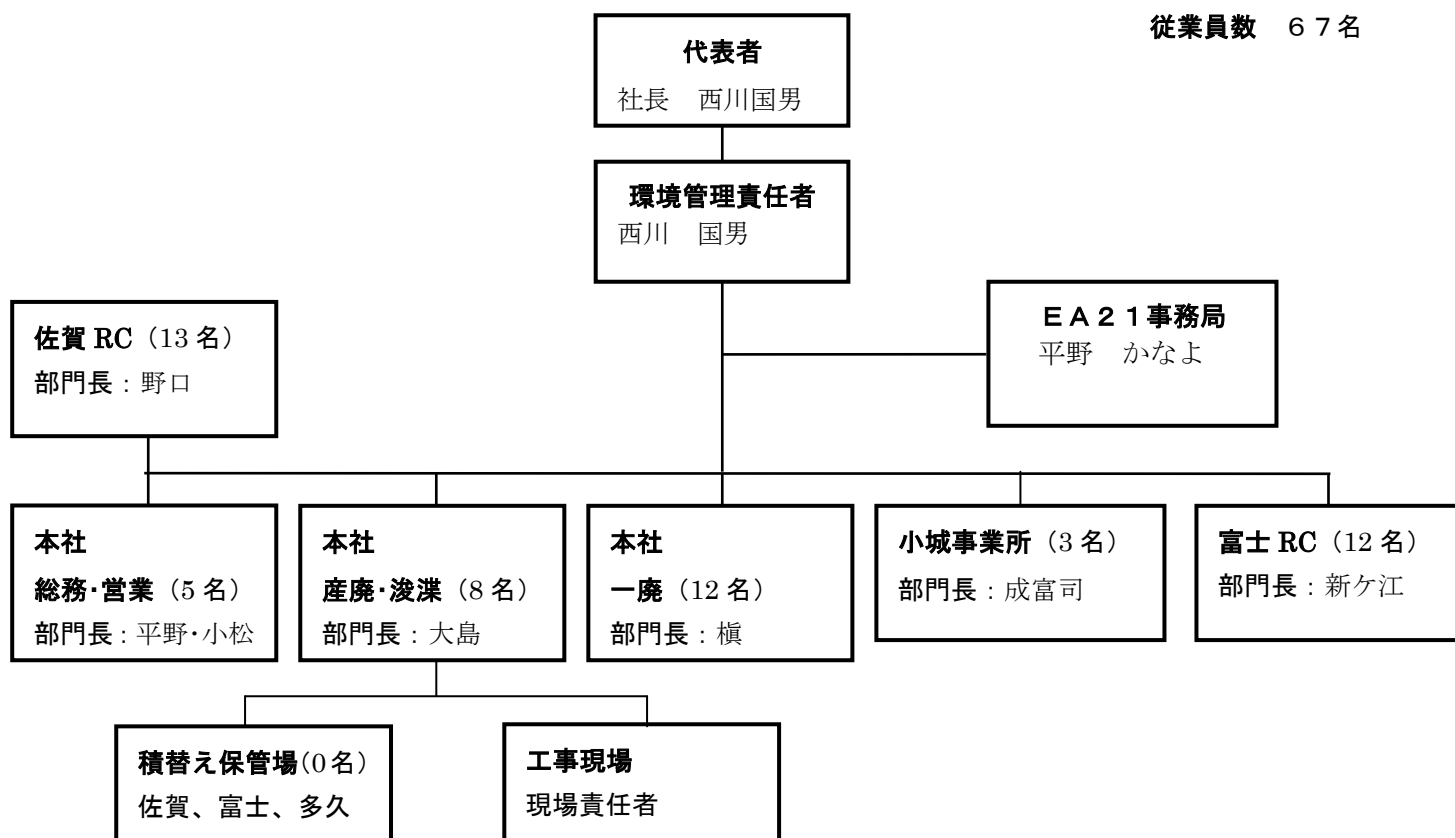
【溶融施設】



(10) 廃棄物処理料金
個別見積もりによる

2. 対象範囲

(1) 組織図



注：従業員数は、多久清掃センター常駐 12 名を含む

(2) 認証・登録範囲

本社、佐賀リサイクルセンター、富士リサイクルセンター、小城事業所
多久積替え保管場、富士積替え保管場、佐賀積替え保管場

(3) レポートの対象期間及び発行日

レポート対象期間：平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日

発行日：平成 27 年 6 月 25 日

環 境 方 針

基本理念

佐賀クリーン環境は「人と自然に快適な環境を創る」をスローガンに地球環境保全に取り組み、自然環境との共生・調和を目指し地域社会に貢献していきます。

行動指針

わが社は、廃棄物の収集運搬・処理業務及びしゅんせつ工事業務を通して最適なりサイクルシステムの確立と廃棄物の再資源化の推進及びしゅんせつ土の有効利用を図り、事業活動において環境関連の法規制、当社が同意するその他の要求事項等を順守すると共に、環境への負荷を低減するよう全社員と関係者に対して周知徹底を図り、次のことに積極的に取り組みます。

1. 廃棄物の収集運搬・処理業務における、大気汚染・水質汚濁・悪臭・騒音・振動の防止に努めます。
2. 廃棄物のリサイクル推進のために、仕分・選別・再生・資源化等のシステムのレベルアップを図ります。
3. 作業所・オフィスにおける省エネ・省資源及びリサイクルの推進に努めます。
4. 廃棄物リサイクル施設への見学受け入れ公開に努めます。
5. しゅんせつ発生土の有効利用に努めます。
6. 地域の環境活動への積極的な参加推進に努めます。
7. 水使用量の削減に努めます。
8. グリーン購入の促進を図ります。

上記のことを実施するため、環境に関する目的・目標を設定し、定期的に見直すことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進します。

この環境方針は一般に開示して、定期的に見直してレベルアップを図ります。

制定 2010年11月19日

改定 2014年10月20日

株式会社 佐賀クリーン環境
代表取締役 西川 国男

3. 環境目標(全社)

	単位	基準年度実績 平成 23 年度	中長期計画		
			平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
① CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	566,199	目標 1%削減 560,537	目標 2%削減 554,875	目標 3%削減 549,213
②受託した産業廃棄物の 処理量	ton	4737	目標 3%増加 4879	目標 5%増加 4973	目標 10%増加 5210
③受託した産業廃棄物の 最終処分量	ton	0	目標 1%削減 0	目標 2%削減 0	目標 3%削減 0
④事業所からの一般廃棄物の 排出量	kg	1000	目標 1%削減 990	目標 2%削減 980	目標 3%削減 970
⑤水使用量	水道水	m ³	141	140	138
	井戸水	m ³	940	930	921
⑥しゅんせつ発生土の有効利用	%	100	100	100	100
⑦化学物質使用量(該当なし)	kg	—	—	—	—
⑧グリーン購入促進	品目(種類)	4	5	6	7
⑨地域環境ボランティア	回数/年	45	46	47	48

※CO₂換算係数は、平成 23 年度九州電力株式会社の実排出係数 0.525kg-CO₂/kWh を使用し算出しています。

4. 環境活動計画の取組結果とその評価(全社)

取組項目	活動計画	評価	内容と次年度の取組
① CO ₂ 排出量の削減	処理機械の効率的稼働の実施(連続処理) 収集運搬車両のエコドライブ運用	○	エコ運行監視装置の導入で、エコ運転が定着し、交通事故予防に寄与した。次年度も継続する。軽油は、福岡への処分を委託したので減った。LPGの使用には、今後気を付けたい。
② 受託した産業廃棄物の処理量の増加	社員全員の営業活動の実施(訪問) ホームページでのアピールを実施 廃棄物を確認してからの見積	△	次年度も、ルート巡回中での営業活動を継続的に実施する。営業専門の社員による、新規開拓
③受託した産業廃棄物の最終処分量の削減	選別作業の精度向上を図るために、 作業員への選別知識の理解を推進する。 処分場と営業の連絡を密にする	○	セメント会社でのリサイクルが大きな要因と思われる。有価物を増やすために環境目標に掲げたい。今後も受入廃棄物の確認と把握を徹底し、処理困難物は受け入れない。
④事業所からの一般廃棄物の排出量の削減	マイボトル、マイ箸、手弁当などの奨励、 余分なコピーをしない	○	社員の意識が高まりつつある。コピーも上手になってきた。
⑤水使用量の削減	洗車を効率よく行い、地下水の使用を 少なくする、また、水道をこまめに使用する	△	水の出しっぱなしに注意する。業務量の増加により若干使用量が増えている。次年度も継続する。
⑥ しゅんせつ発生土の有効利用	生石灰による十分な攪拌	○	良質な埋戻土になっている。建設会社との連絡を密に取ること。
⑦グリーン購入促進	事務用品等積極的に採用する	×	購入品も概ね安定しており、新たな購入品が発生したときに採用を積極的に検討する。
⑧地域環境ボランティア	顧客、協会、地域との連携を図り、計 画的な活動を行う	×	さわやかマイタウンの徹底を図る。次年度も地域との連携を積極的に図る。

※注（○：達成している、△概ね達成しているが十分ではない、×：達成できていない）
 ※環境活動の具体的内容は、当社ホームページ(<http://saga-clean.com/>)に掲載しています。

5. 環境目標の実績

(集計一覧表)

		単位	平成 26 年度 目標	平成 26 年度実績	評価
①	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	549,213	535,215	○
②	受託した産業廃棄物の処理量	ton	5210	4675.6	△
②	受託した産業廃棄物の最終 処分量	ton	0	0	○
③	業所からの一般廃棄物の排 出量	kg	970	950	○
⑤	総排水量				
	水道水	m ³	137	74	○
	井戸水	m ³	912	952	△
⑥	しゅんせつ発生土の有効利 用	%	100	100	○
⑦	化学物質使用量(該当なし)	kg	—	—	—
⑧	グリーン購入促進	品目(種類)	7	3	×
⑨	地域環境ボランティア	回数/年	48	33	×

※注（○：達成している、△：概ね達成しているが十分ではない、×：達成できていない、
 —：該当しない）

(平成 26 年度受託した産業廃棄物処理実績)

26年(26年 4月 ~ 27年 3月)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)
(i)収集運搬	汚泥		2,347.2
	廃油		13.4
	廃酸		279.1
	廃アルカリ		2.9
	廃プラスチック類		1,828.8
	紙くず		91.2
	木くず		703.6
	繊維くず		1.0
	金属くず		377.9
	ガラスくず等		60.2
	がれき類		697.2
	動植物性残さ		738.8

	石綿含有産業廃棄物		3.9
	混合廃棄物		17.6
	感染性廃棄物		16.0
収集運搬量合計			7,178.8

(ii) 中間処理		汚泥	固化	655.6	
		廃プラスチック類	溶融	35.0	
		廃プラスチック類	圧縮梱包	643.7	
		廃プラスチック類	破砕	1067.2	
		紙くず	圧縮梱包	152.3	
		木くず	破砕	996.1	
		繊維くず	破砕	1.8	
		金属くず	破砕	334.5	
		金属くず	圧縮	6.8	
		ガラスくず等	破砕	53.0	
		がれき類	破砕	729.6	
	うち 再資源化等		汚泥	固化	655.6
			廃プラスチック類	溶融	35.0
			廃プラスチック類	圧縮梱包	550.9
		廃プラスチック類	破砕	1,067.2	
		紙くず	圧縮梱包	152.3	
		木くず	破砕	996.1	
		繊維くず	破砕	1.8	
		金属くず	破砕	334.5	
		金属くず	圧縮	6.8	
		ガラスくず等	破砕	53.0	
		がれき類	破砕	729.6	
		再資源化等量小計		4,582.8	
中間処理合計			4,675.6		
(iii) 最終処分			該当なし		
最終処分量合計			0		
(iv) 中間処理後の産業廃棄物	最終処分				
	再中間処理量	廃プラスチック類	焼却(委託)	92.8	

再資源化等	汚泥	脱水(委託)	655.6
	廃プラスチック類	溶融(プラスチック原料)(売却)	35.0
	廃プラスチック類	圧縮梱包(プラスチック原料)(売却)	278.4
	廃プラスチック類	圧縮梱包(委託)(セメント燃料、原料)	272.5
	廃プラスチック類	破砕(プラスチック原料)(売却)	9.9
	廃プラスチック類	破砕(委託)(燃料発電、セメント燃料、原料)	1,057.3
	紙くず	圧縮梱包(再生紙原料)(売却)	69.5
	紙くず	圧縮梱包(委託)(セメント燃料、原料)	82.8
	木くず	破砕(ボイラー燃料)(売却)	996.1
	繊維くず	破砕(委託)(セメント燃料、原料)	1.8
	金属くず	破砕(製鉄原料)(売却)	334.5
	金属くず	圧縮(製鉄原料)(売却)	6.8
	ガラスくず等	破砕(委託)(再生砂)	53.0
	がれき類	破砕(再生碎石)(売却)	729.6
	再資源化等量小計		
中間処理後処分量合計			4,675.6

(平成26年度受託した一般廃棄物処理実績)

26年(26年4月～27年3月)

市町名	処理方法等	廃棄物の種類	処分方法等	処理量(t)
佐賀市	収集運搬	一般廃棄物(ごみ)		3,082.5
多久市		事業系一般廃棄物		219.8
神埼市		一般廃棄物(ごみ)		9.8
吉野ヶ里町		ごみ(事業系一般廃棄物)		87.2
白石町		一般廃棄物(可燃物)		379.1
武雄市		白石町内で積込する一般廃棄物のうち、武雄市朝日町の杵藤クリーンセンターで積み降ろす廃棄物に限る。		
収集運搬量合計				3,778.4

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

廃棄物の処理及び清掃に関する法律、消防法、騒音規制法、振動規制法、地域協定等の違反について環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、平成27年3月31日現在、環境関連法規等の違反、訴訟などありませんでした。また、過去3年間、関係機関からの違反等の指摘はありませんでした。外部からの苦情もありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境目標に対して具体的な活動計画を全社で実行したことにより、環境活動に対する意識向上が図れた。今後は、なお一層の社員のレベルアップを図るため、勉強会、研修会を増やしていく。目標未達成の項目については、今後の達成状況を確認しながら目標設定の見直しを図り、環境活動に取り組んでいきます。平成27年度からは、環境目標に有価物の売却量を入れる。